

# 乗鞍畳平エリアマップ Norikura Tatami-daira Area Map

イラスト：町田早季



## 畳平ハイキングの魅力とライチョウ観察ルート

小林 正直 / 乗鞍白雲荘支配人

「乗鞍ライチョウルート」終点の標高2702m地点には、ライチョウが繁殖期を過ごすために必要な広大なハイマツ帯とお花畑が広がり、さらに火山性の造山活動が創り出す特徴的な山岳地形などの日本らしい高山帯の特徴的な自然環境となっています。

そこに生息するライチョウの個体数は現在、比較的良好な安定数で推移していると思われます。そのため、ターミナル施設から徒歩数分で出会うこともあります。そんな畳平周辺の散策路をポイント毎(①～⑤)の特徴と注意点を簡単にご紹介させていただきます。周辺施設情報もぜひ参考にして下さい。

※個々の説明はすべての場所でも共通しますのでご注意ください。

### ポイント① 大黒岳北側斜面

(通称「ライチョウの立場」付近)

ライチョウとの遭遇率が高く、フォトジェニックな場所でもあることから乗鞍ライチョウウォッチャー達からは随一の人気スポットになっています。

**注意点** 趣向を凝らした構図や接近撮影を狙おうとして配慮に欠く行動やマナー違反を犯すカメラマン、観察者も散見されますので、良識を持った観察者になるように心がけましょう。

### ポイント② 鶴ヶ池～大黒岳

山頂に雨風が凌げる休憩舎があります。この付近では他の野鳥も多い優良バードウォッチングポイントなので、渡りの途中やレアな旅鳥に出会うことも度々あります。

**注意点** 良好な自然環境であることから、ツキノワグマとの遭遇も多いので昼夜問わず、ひと気の少ない時間帯の単独行動には細心の注意が必要です。

### ポイント③ 富士見岳周辺

畳平周辺が見渡せる展望地で、鳴き声や飛び姿などを頼りに周辺のライチョウの位置関係なども広範囲に渡って把握しやすいはず。肩ノ小屋に向かっては人気者のオコジョに出会えることもあります。

**注意点** 登山道の足場が悪く、身を隠す場所のない急峻な峰などで悪天候時には登山を慎みましょう。

### ポイント④ お花畑木道周辺

高密度で可憐な高山植物を愛でながら、採食中の離れれライチョウに度々出会うことのできるエリア。

**注意点** 人の往来が多い時は、通行の妨げになってしまうので、日中の混雑時や繁忙期の腰を据えた観察は出かけるだけ避けましょう。幸運にも出会ってしまった際には、他の利用者への細心の配慮が必要です。

※乗鞍岳山頂エリアのほとんどは国立公園特別保護地区です。ルールを守って、ライチョウ保護をはじめとした自然環境の保全に努めましょう。

### ポイント⑤ 魔王岳

バスターミナルから最も近く、手軽に登ることができる峰。人に寄り添うように暮らすライチョウに遭遇しやすい場所です。

**注意点** ツアー観光客も多いため、見つけた際にハシャいでしまい人だかりができてしまうことがあります。そうした時でも冷静な状況判断を心がけ、ライチョウに迷惑をかけないようにしましょう。

## 乗鞍ライチョウルート NORIKURA RAICHO ROUTE

### TOPIC-1

#### 乗鞍ライチョウルート

乗鞍岳への誇りと自然への畏敬の念、未来への想いをライチョウというシンボルに込めた長野県・岐阜県の双方から一気通貫できる観光ルートの愛称として、令和3年8月1日に命名されました。乗鞍岳の懐の深さ、一気通貫だから知り得る乗鞍岳の景観や山麓地域のバラエティに富んだ魅力が楽しめます。

### TOPIC-2

#### 魔王岳頂上奥から恵比須岳方面再整備開路

2022年秋に再整備され、通行可能となった魔王岳頂上奥からの散策歩道で、恵比須岳火口越しにバスターミナル～剣ヶ峰方面ははじめ、乗鞍の火山の連なりがダイナミックに一望できる、畳平近辺の新たな展望所として注目されています。

